



静内小学校1年生33人が9月24日に(株)出口組提供の建設機械を、三石小学校1年生22人が10月22日に幌村建設(株)提供の建設機械を写生しました。

両社では、社会貢献事業の一環と子どもたちに建設業への興味関心を深めてもらいたいとの思いから、事前に機械の運搬

## はたらくじどう車

### 静内小、三石小で写生会

や写生場所の整地などを行い実施されています。

児童らは、国語の授業で「はたらくじどう車」の学習をし、図画工作の授業で建設機械の写生と見学を行い、「シヨベルカー」大きいし、外で絵が描けて、とっても楽しい」と話しました。

# NEWS FLASH

## シルバー人材センターが

### 役場静内庁舎構内を清掃

公益社団法人新ひだか町シルバー人材センター(高瀬彬理事)が、平成11年から毎年実施されています。

この日、会員25人が静内こうせい町)によるボランティア活動が10月16日に役場静内庁舎構内で行われました。

この活動は、全国のシルバー人材センターで10月第3土曜日を『シルバーの日』と定

め、平成11年から毎年実施されています。

この日、会員25人が参加し、訪れる人が気持ちよく利用できるよう、約2時間かけて植栽木の枝切りのほか、落ち葉やごみ拾いなどの清掃が行われました。



## 二十間道路桜並木

### 環境保全活動ボランティア

町主催の『みんなで一緒にまちづくり! 2021秋二十間道路桜並木環境保全活動ボランティア活動事業』が10月23日に二十間道路桜並木で開かれ、町内外から71人が参加しました。

町民と桜並木の現状を共有し、協働のまちづくりに対する意識醸成を目的として毎年実施しています。

参加者は4班に分かれ、約2時間かけて枯れ枝やごみ拾いを行い、多くの方のご協力により桜並木がきれいになりました。



## タイトルホルダー号

### 菊花賞を制覇!

第82回菊花賞(GI、芝3000m)が10月24日に阪神競馬場で開かれ、岡田スタッド(岡田牧雄代表・静内目名)の生産馬、タイトルホルダー号が見事優勝を果たしました。

レースでは、スタートから先頭に立ち、圧倒的な力を見せつけて鮮やかに逃げ切り、GI初勝利をつかみ取りました。

岡田代表は「菊花賞を狙って育成してきたので、優勝は本当うれしいです。体が小さく生まれましたが、見事に期待に答えてくれました」と話しました。

## アイヌの生活や文化を学ぶ

### イオル再生体験交流事業

町主催の『イオル再生体験交流事業』が10月26日と29日に静内目名の静内川支流で開かれ、高静小、静内小、山手小、桜丘小学校の4年生と東静内小学校3・4年生153人が参加しました。

児童らは、新ひだかアイヌ協会会員から伝

統漁具の『マレク(突きカギ)』の使い方などの説明を聞き、マレクを使用したサケ漁の見学を行いました。

その後、アイヌ民俗資料館などを見学したほか、サケの加工も体験し、アイヌの生活文化や歴史について学びました。



## 静内農業高等学校で

### (株)セコマ会長講義

文部科学省のマイスター・ハイスクール事業(次世代地域産業人材育成刷新事業)の指定校として、道内で唯一選ばれた静内農業高校で10月21日、(株)セコマの丸谷智保会長による講義が行われ、全校生徒128人がメモを取りながら真剣な表情で聴きました。

講義では、地域愛・道内産の製品開発・食品ロスなどのほか、生徒らに向けて「人の役に立ち、地域のためになること。意識して明るい未来を考えることが大切」と話し、その後、同校生産品6品を試食。「発想がおもしろい、味もおいしい」と絶賛しました。

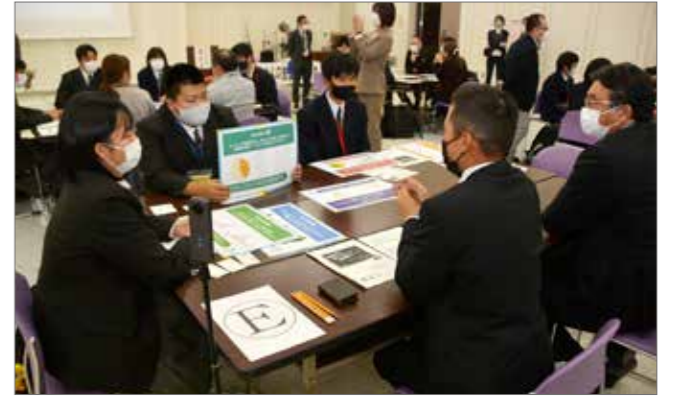


講義の様子

試食品を説明する生徒

試食品の説明を聞く丸谷会長





### まじめに楽しく語り合う 高校生と働く大人の放課後トーク

日高中部通年雇用促進協議会主催による『高校生と働く大人の放課後トーク』が11月5日に公民館で開かれ、地元の高校生45人と地元企業から29人が参加しました。

この事業は、企業で課題となっている人材確保などについて、高校生の本音や企業の思いを語り合い、若手人材の定着や育成につなげることを目的としています。

「働くうえで気を付けていることは何ですか」など、生徒からの質問に大人が答えるトークのあと、参加者は13グループに分かれ、『働くとは』をテーマに経験談などを交えながら楽しく語り合いました。

合い、若手人材の定着や育成につなげることを目的としています。

### 「走る」「跳ぶ」「投げる」 シベチャリ陸上教室

シベチャリマラソン・駅伝大会実行委員会（松井惟也会長）主催の『シベチャリ陸上教室』が11月6日と20日に静内高校グラウンドで開かれ、町内の小学2年生から高校生までの41人が参加しました。

この事業は、走り、跳ぶ、投げるを基とした運動プログラムに触れることにより、マラソン大会など各種スポーツ大会の参加につなげることを目的としています。

### 1年間の成果を披露 第15回町民芸術祭

#### 新ひだか町民芸術祭実行委員会（市毛満会長）と教育委員会の共催による『令和3年度第15回新ひだか町民芸術祭』が11月5日から23日にかけて公民館と総合市民センターで開かれ、文化サークルによる作品などが展示・披露されました。

策として、芸能部門の発表方法を変更し、団体ごと撮影した動画を作品展示期間中に会場で上映しました。

会場では、絵画や陶芸品などのほか、児童生徒の作品も展示され、訪れた方は作品を興味深く鑑賞していました。



### 北海道善行賞・日高振興局長表彰 静内ロータリークラブ 桜の植樹式

11月10日に役場静内庁舎で北海道善行賞の贈呈が行われ、障がい者の自立と社会参加に尽力された山口照子さん（静内青柳町）と町内および日高管内の障がい福祉活動に尽力された扇尋子さん（静内旭町）が受賞されました。

また、同日、社会福祉に尽力された次の方々に日高振興局長表彰が贈られました。（敬称略）  
東かなえ（静内旭町）、  
江口美津子（三石旭町）、  
安中恵子（静内中野町）、  
尾崎文子（静内青柳町）、  
幌村輝美（静内花園）



静内ロータリークラブ（不動新作会長）は、11月10日に二十間道路桜並木で関係者約30人が参加する中、環境保全活動の一環としてエゾヤマザクラの苗木5本の植樹を行いました。

同会は、平成29年から二十間道路桜並木の奉仕事業を継続しており、今回を含めてこれまで20本の苗木が寄贈されています。

#### 不動会長は「この素晴らしい桜並木の景観を多くの人に見てもらいたい。老木化や害虫被害などもあるため、今後も寄贈を続けていきたい」と話しました。



写真左2人目から江口さん、山口さん、扇さん、東さん

### 白寿祝い

#### 田中タマエさん(99)

田中タマエさんが11月10日に白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム蓬萊荘で町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

田中さんは八雲町で生まれ、結婚後は漁業を営みながら8人の子どもに恵まれました。現在は、孫が13人、ひ孫が10人います。

家族の方は「母には本当に感謝しています。近くにいるだけでほっとします。まだまだ長生きしてほしいです」と話しました。



#### 中村直義さん(99)

中村直義さんが11月12日に白寿を迎え、町から祝い状、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

#### 【お詫びと訂正】

広報11月号の得する街のゼミナール in 新ひだかの記事において氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。 正 妹尾巨知さん 誤 妹尾臣知さん